



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第186号 2017年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成29年8月30日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

お客様サポート

住まいは、生活の場であり、くつろぎの場です。快適で安心して暮らせる住まいは、誰もが望むところですが、経年劣化等の原因で、住宅設備機器の故障は予期せぬ形で発生します。下記は各メーカーの修理や相談窓口の連絡先です。今後のメンテナンスにご活用ください。ご不明な点は弊社までお申し付けください。

LIXIL

トイレ・浴室・洗面化粧台など

0120(179)411

キッチン

0120(000)072

窓・シャッター、リビング建材、エクステリア

0120(413)433

Panasonic

0120(872)150

クリナップ

0120(126)174

TOTO

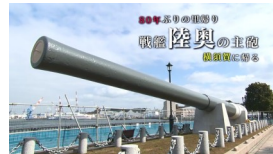
0120(03)1010

ノーリツ

0120(911)026

80年ぶりの里帰り

戦艦陸奥は横須賀海軍工廠で1921年に建造され、1936年の大改造により主砲が搭載されました。当時の造船技術を結集した日本海軍の象徴的な戦艦でした。しかし、太平洋戦争末期に原因不明の大爆発によって瀬戸内海柱島沖で沈没し、1971年に引き上げられました。その後、その主砲がお台場の「船の科学館」に展示されていましたが、昨年9月に陸奥の会が中心となってヴェルニー公園に移設され、今春から一般公開されています。



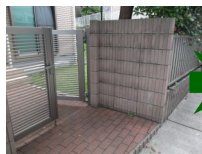
皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. **Next50**
創刊 2002.4.1.

介護保険住宅制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

外出するときに、玄関と門扉付近の段差を安心して移動できるように、手すりを設置したいというご要望です。既存のタイルとレンガの床に穴をあけて、支柱を埋め込み、固定させました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「手すりが握りやすく、安心して外出ができるようになりました」という感想をいただきました。



手すりの色は建物の外観を損なうことがないように同色系にしました。

よこすか文学館

横須賀に生まれ育ち、広島海軍兵学校で終戦を迎え、その後、短歌の道に精進し、数々の作品を残した島田修二についてご紹介します。

敗将と呼ばれるひとりの訓示にて
校長なれば黙し聴きあつ

島田修二

第九回（海軍兵学校詠歌②）

最後の歌集『行路』（2000年）所収。島田が海軍兵学校に入学した1945年当時の校長は、栗田健男中将でした。前年10月、レイテに侵攻した米軍の機動部隊をおとりの艦隊が北方に誘い、その隙に栗田中将の艦隊がレイテ湾に突入するという作戦が実施されましたが、栗田艦隊は突入前に突如「謎の反転」をして、作戦は失敗します。3隻の戦艦その他を失う大敗でした。その「敗将」の栗田中将も校長である以上、生徒たちは黙って訓示を聴いている、という、苦味のある歌。



洗足学園中学高校教諭
中島正二

横須賀製鉄所物語（産業革命の萌芽）〈38〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

横須賀製鉄所（造船所）は、造船、船舶の修理だけでなく当時の日本としては、驚くべき製造工場等の集積が図られ、一般国民には到底想像できないものでした。「一覽図」によりますと官庁として「役所とも呼ばれ、造船、機械、艀装、庶務、記録、製図などの諸科がありました。これらの諸科が造船所の事務一般を担当し、工場の運営や艦船の建造、修理などの計画や職員の人事などを行っていました」と記され、また、こうした大工場を運営するには、多くの優秀な人材が必要で、特に造船技術の専門家を配置しなければならないので「覺舎」との名称で造船技術の高等専門学校を設置して、多くの優秀な造船技術者が育成されました。その中で特に優れた人はフランスの造船学校に留学することができました。しかし、「覺舎」も横須賀海軍船廠史の明治9年紀のヴェルニーの在職中における経過報告によれば、「1868年（明治元年）政府ノ命ニヨリテ造船學校ヲ全廢セリ1870年（明治3年）大隈・伊藤二氏造船學校再置ノ建議ヲ容レ1872年（明治5年）ニ至リテ正則變則ノ二校ヲ開設セリ」と記されており、人材育成も政府の交代によって評価が異なり、順調に運営されることではありませんでした。そして、「覺舎」は、1882年（明治15年）に廃止され、現在の東京大学工学部に引き継がれました。また、製鉄所（造船所）では、作業の開始・昼食・作業の終了を知らせるため、敷地中央部山の手に「鳴鐘」と呼ばれる鐘が設置され時を告げ、それまで日本では仕事は日の出から始め、日の入りまででしたが、時刻による現代の就業が行われました。一方、製鉄所（造船所）内では大量の材料・製品を移動させるために「構内鉄道」が敷設され、重量のある製品が容易に運搬されていました。この「構内鉄道」は当初人力で走行されていましたが、後に機関車が導入されることになりました。そして、施設内での水需要については、周辺の湧水では不足することになりヴェルニーは現地調査を実施し、走水から水道水を引き込むことにしました。走水から工場まで4か所のトンネルを掘り、7,000メートル余の水道管が敷設されました。工場では「水溜所」が設置され水道水を受け入れました。そこからポンプにより各工場や停泊中の艦船に給水していました。この様に工場は当時の日本としては、最新の工場設備を持つ総合工場で、ここで生産された機械設備などにより「富岡製糸場」「生野銀山」「愛知紡績所」などが稼働することができました。それまでの日本は手工業の時代でしたが、こうした機械設備により近代的な産業へと生まれ変わり、近代産業国家へと大きく変身することになりました。ここに西欧先進諸国と同様に産業革命が実施されたのです。日本の産業革命を語るときには「横須賀製鉄（造船）所」を真っ先に取り上げなければならないでしょう。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



①富岡製糸場
②生野銀山

ARSENAL D' IOKOSKA

11月11日(土)・12日(日)に三笠公園で開催される「よこすか産業まつり」にペーパークラフト教室「みんなde街づくり」を出展する予定です。9年目となります。歴史を活かした街づくりというテーマで、鍬入れ式から150周年を迎えた横須賀製鉄所を模した「ARSENAL D' IOKOSKA」にサイコロキャラメルの空き箱を使い、自分でデザインした住まいを配置して、みんなが住みやすいように街づくりをしていただきます。シリーズ第三弾で最終章です。今年も楽しいアクティビティーや賞品をご用意しています。さらに、リクエストにお応えして、過去8年に亘る皆様の作品を収めた映像をブース内で上映する予定です。お立ち寄りいただき、あなたがデザインした住まいをご鑑賞ください。



上映スケジュール ①10:00~ ②12:00~ ③14:00~



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2017」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索